**地域密着型サービス運営推進会議記録（第3回）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設名 | グループホーム青葉園 | |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 | |
| 開催日時 | 令和4年　9月　30日　　　　13時　30分　～　　14時　30分 | |
| 会場 | グループホーム青葉園 | |
| 参加者 | 利用者代表 | 2人 |
| 利用者家族代表 | 1人 |
| 地域住民代表 | 1人 |
| 有識者 | 1人 |
| 高齢者お世話センター | 1人 |
| 市職員 | 0人 |
| 事業者 | 4人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | 前回（7月28日）からの活動[9月生まれお誕生会・コロナワクチン4回目・訪問散髪・敬老会]を報告する。  入居状況・・・2ユニット18名入居　男性2名・女性16名  　　　　　　　平均要介護度2.6　平均年齢86.3歳  職員の状況・・常勤介護職員8名　夜勤専従職員3名  非常勤介護職員8名 |
|  |
| 議題 | 新型コロナウイルス第7波の感染者も下火にはなったのですがまだまだ油断できないので今回も紙面にて開催し、後日文書や電話等で意見を頂きました。  ・青葉園だよりにて活動報告  ・事例の方2名（最近、不穏な言動が多く、他の利用者さんに影響が大きい。心療内科で追加処方された薬の副作用があり医師・薬剤師に相談。改善されたが、不穏な言動続いている。）  ・コロナ禍のため、なかなか家族の方との対面でじっくり話し合う機会がなく青葉園だよりやお手紙でお知らせしたり、体調の変化や連絡事項があるときは電話をしているが、こちらの意図がうまく伝わらないこともあり家族とのコミュニケーションのとり方が難しいと感じるときがある。  ＊ひとりの方が不穏になると、他の利用者の方にも悪影響がでるなど職員の方の負担も増え苦労されていることと思います。既に取り組まれていると思いますが専門医に相談、服薬管理、介護の方法（傾聴・声掛け）を検討し対応してはどうでしょうか？  ＊家族とのコミュニケーションもコロナ禍で対面できないが故に表情など非言語の部分が双方間で十分にできないため、難しくなっていると思います。「専門職のための認知症の本人と家族が共に生きることを支える手引き」がありますので参考にしてみてください。  ＊はじめてお薬を内服されるときは、副作用（吐き気・食欲不振・眠気など）がでるときがあるので様子観察お願いします。  ＊職員の方が丁寧に対応してくれているのが文面からよくわかりました。事例のように、父が不穏状態になったときはどういう対応をしてくれるのかなあと思いました。  ＊今年も林崎、見能林文化祭も中止となりました。11月27日には見能林小学校で阿南市指定避難所開設・運営・防災訓練がありますので参加してください。 |
|  |